

## 第5章 地域別計画

### 1. 地域別計画について

#### 1-1 概要

地域別計画は、各地域の緑の現況や地域の特色などの整理を行い、雲仙市全体の緑のまちづくりの目標（第4章計画の基本方針等）を踏まえながら、地域の緑のまちづくりの目標やその達成に向けた施策を示します。

また、本計画における地域別計画は、緑の基本計画に位置づける緑化重点地区の役割をなすものとして整理します。

なお、地域別計画の作成にあたっては、地域住民の意向を反映するため、「市民アンケート」に加え、地域の方に集まっていただき、まちづくりについて議論する「地域別ワークショップ」を開催しました。地域の将来像や緑のまちづくり方針には、地域住民の意見を可能な限り反映させています。

#### 1-2 地域区分

地域区分にあたっては、上位計画との整合を図るため、都市計画マスタープランに位置づけられる地域別構想の「北部」「中部」「南部」の区分とします。



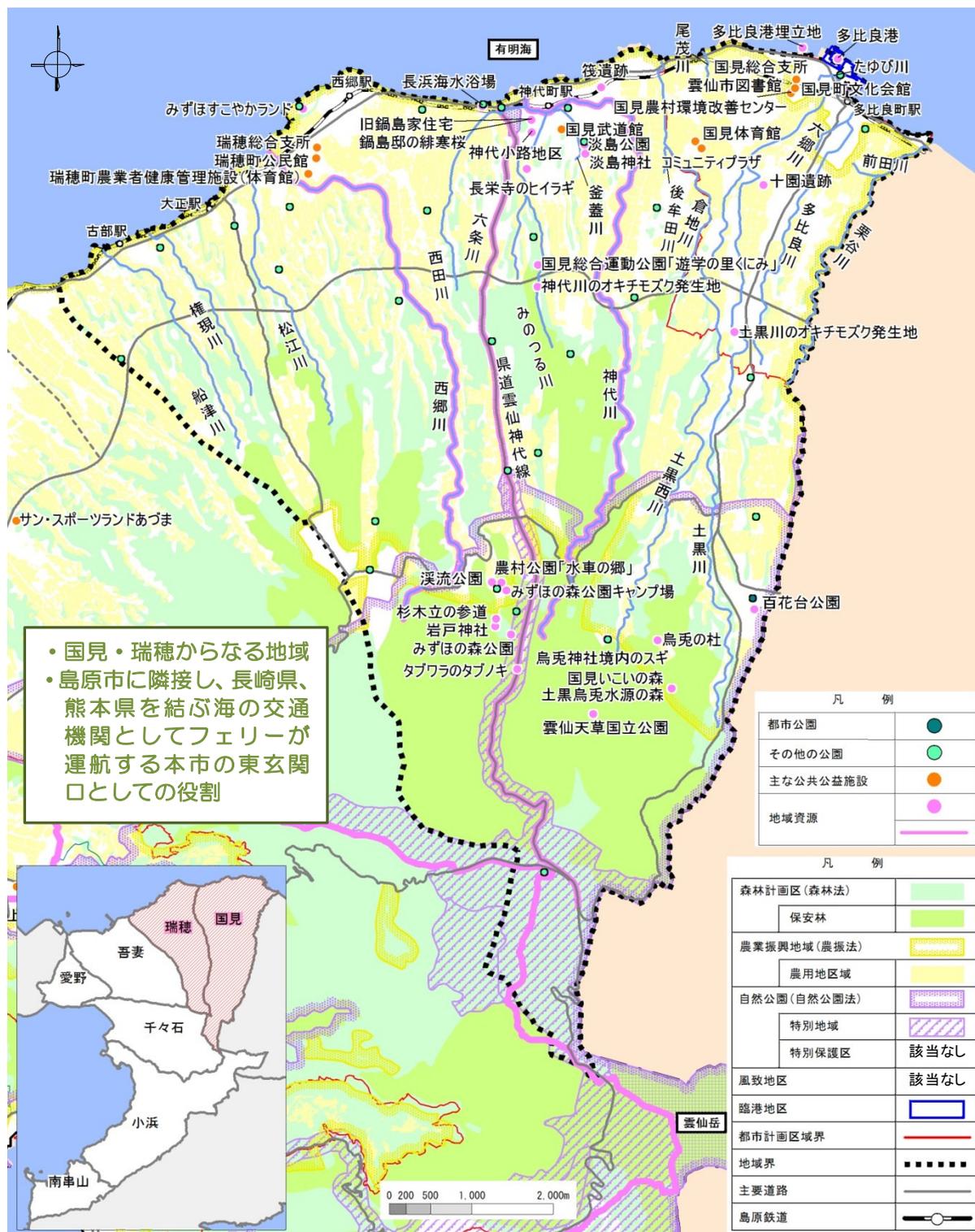
## 2. 北部地域

### 2-1 北部地域の現況

#### (1) 現況

人口 (H22)	15,969人 (国見 10,444人、瑞穂 5,525人) で市全体の 33.8% を占める				
都市公園	1箇所	30.4ha	その他公園 (自然公園を除く)	30箇所	59.51ha
一人当たりの公園面積	56.3 m <sup>2</sup> /人		緑地総計 (施設緑地+地域制緑地)	4,799ha (地域全体の 74.5%)	

図：北部地域の緑の現況図



表：北部地域の機能別緑の現況

<p>《環境保全機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北は有明海に面し、雲仙岳から有明海に向かって傾斜地と台地が扇状に展開し、西郷デルタに代表される水田地帯や畑作地帯が海岸部に形成</li> <li>●土黒烏兎水源の森、岩戸神社周辺の自然美あふれる森林、雲仙天草国立公園の森林など、優れた自然を持つ</li> <li>●国見地域において、国の重要伝統的建造物群保存地区である神代小路地区の優れた歴史的風土のほか、桜の名所である淡島公園、桜や紅葉の美しい烏兎の杜が分布</li> <li>●有明海沿岸の平野部を中心として、城址、遺跡群が多く分布</li> <li>●稲作、露地栽培、施設園芸、畜産等の農業及び漁業をはじめ第1次産業の割合が高く、優良な農地等が多く分布する。その一方で、耕作放棄地等の課題も持つ</li> <li>●神代川・土黒川のオキチモズク発生地、長栄寺のヒイラギ、鍋島邸の緋寒桜の他、天然記念物と関わりのある緑が分布</li> </ul>
<p>《レクリエーション機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●有明海沿岸は、海水浴場（長浜海水浴場）、潮干狩り等のレクリエーション目的に活用</li> <li>●国見総合運動公園、百花台公園、みずほすこやかランドなど、スポーツレクリエーションの他、自然と触れ合える大規模な公園が分布</li> <li>●みずほの森公園・キャンプ場、農村公園水車の郷など、グリーンツーリズムをはじめ、豊かな水と緑と触れ合える施設が分布</li> </ul>
<p>《防災機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雲仙岳を中心に広がる保安林など、水源かん養、土砂災害防止機能等の防災機能を発揮する森林が分布</li> </ul>
<p>《景観形成機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された神代小路地区が分布。同地区は、街なみ環境整備事業による整備が実施</li> <li>●長栄寺のヒイラギ、烏兎神社境内のスギ、鍋島邸の緋寒桜、樹齢数百年の杉木立の参道を持つ岩戸神社をはじめ、良好な景観を持つ樹木や社寺が分布</li> <li>●百花台公園やみずほの森公園などに景観の眺望地点が分布</li> <li>●海の玄関口となる多比良港が配置</li> </ul>

(2) 地域住民の主な意見

※アンケート調査及び市民ワークショップ等によるご意見

<p><b>地域の魅力</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みずほすこやかランドから臨む海の風景</li> <li>・西郷川の水がきれい</li> <li>・ホテルの生息</li> <li>・みずほの森（自然林が美しい）</li> <li>・東原からの眺望</li> <li>・有明海、雲仙岳により形成される美しい景観</li> <li>・EM団子活動</li> <li>・奥雲仙、田代原牧場周辺の緑と湧水</li> <li>・長栄寺のヒイラギ</li> </ul>
<p><b>地域の課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体で清掃の実施（身近な水辺になれば進む）</li> <li>・みずほの森公園キャンプ場の整備、管理方法</li> <li>・イノシシが町内全域に出没</li> <li>・防災面に意識しすぎた堤防（護岸）となり、親水性が低い</li> <li>・高潮被害</li> </ul>
<p><b>アイデア</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海辺の緑の拠点となる有明海、まちや山の緑の拠点となるみずほの森や溪流公園を中心とした緑のまちづくり</li> <li>・みずほの森、溪流公園は人と森をつなぐ重要な場であり、旧町の枠を超えて、森の保全、森の活用（芸術の森等）を図ることが重要</li> <li>・モーモーフェスティバルをはじめ、農産物や地域資源をPR</li> <li>・町が持つ森の面積＝豊かさの基準と捉えた緑のまちづくり</li> <li>・有明海沿岸における、水や自然に親しむゾーンの形成 例えば、石干見（すくい）の復元：自然学習の場、水をきれいにすることを意識できる場として活用</li> </ul>



みずほすこやかランドからの夕陽



岩戸神社(みずほの森周辺)



溪流公園



田代原

## 2-2 北部地域の緑のまちづくりの目標

第4章基本方針や各種関連計画に位置付けられる地域まちづくりの方向性を踏まえ、北部地域の緑のまちづくり目標を位置付けます。

### 基本理念と基本方針

#### みんなで育てる きらめく水と緑のまち 雲仙

快適で美しい水と緑を守り、未来へ繋ぎます

五感で楽しむ、安全・安心を支える水と緑の環境を創ります

水と緑に対する理解を深め、市民協働による水と緑のまちづくりを育てます

### 北部地域 緑のまちづくりの目標

#### 豊かな「森」を身近に感じられる地域の形成

みずほの森、溪流公園周辺に広がる森林や草原をはじめとした豊かな緑、土黒川、西郷川や有明海の美しい水、台地に広がる農地や田園環境など、地域の豊かな水と緑を守ります。また、これら美しい自然を身近に感じる事が出来る住まいづくりや地域づくりを進めることで、市民協働による水と緑のまちづくりを推進します。

#### 人・地域・文化がつながる 美しい水と緑の軸の形成

神代小路に代表される歴史・文化の継承、グリーンツーリズム、エコツーリズムなど水と緑と触れ合う機会の創出、大規模公園を活かしたスポーツの振興による人の交流などを通じて美しい水と緑の軸の形成を目指します。そのため、既存のまちづくり団体や市民・事業者との連携、イベント等を活用し、人・地域・文化がつながる緑のまちづくりを推進します。

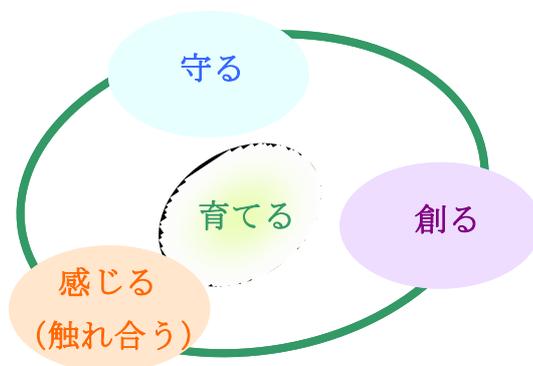
### 参考：上位・関連計画の位置づけ

	国見地域	瑞穂地域
総合計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設園芸や畜産等の農業及び漁業を中心とした産業の活性化</li> <li>○美しい自然と街並みを生かした、活力と魅力に溢れたまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○稲作、露地栽培、施設園芸、畜産を中心とした農業の振興</li> <li>○広域観光資源を活用した交流人口の増加、地域活性化による、水と緑あふれる田園のまちづくり</li> </ul>
雲仙市都市計画マスタープラン	将来像 『自然と歴史・文化の魅力を感じる暮らしやすい地域』 目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然や田園環境を保全・改善・活用するまちづくり</li> <li>・交通アクセスの改善に努め、安全で快適に暮らせるまちづくり</li> <li>・神代小路や遺跡などの歴史・文化資源を活かした魅力的なまちづくり</li> </ul>	

## 2-3 北部地域の緑のまちづくりに向けた施策

第4章「施策の基本体系」に基づき、北部地域における緑のまちづくり施策を整理します。

なお、施策の整理にあたっては、地域の特性に応じて推進すべき施策について位置付けるものとし、市全体として展開する内容については、第4章に基づき進めるものとします。



### (1) 水と緑を『守る』ための施策

#### ①骨格を形成する水と緑の保全

- ・岩戸神社周辺の森、みずほの森、土黒烏兎水源の森における、国立公園、保安林等、各種法制度に基づく保全と適正な維持・管理
- ・潮干狩りや海水浴が楽しめる長浜海水浴場等の有明海沿岸の良好な自然環境の保全
- ・土黒川、西郷川等における多自然型川づくり、親水性に優れた環境の形成

#### ②歴史と文化を伝える水と緑の保全

- ・歴史的価値が高く、地域のシンボルとなる樹木の保全

長栄寺のヒイラギ、烏兎神社境内のスギ、タブワラのタブノキ、鍋島邸の緋寒桜、淡島公園の桜、岩戸神社周辺の樹齢数百年の杉並木 他

- ・重要伝統的建造物群保存地区の神代小路とその周辺部も含めた良好な景観の保全・創出  
特に、その整備にあたっては、観光地としての拠点性を高め、交流人口の拡大や地域の活性化をめざし、街なみ環境整備事業等による整備と周辺部の良好な緑地の保全・創出の推進

### (2) 水と緑を『創る』ための施策

#### ①拠点・軸となる地区の水と緑の創出

- ・雲仙岳～台地に広がる田園～海岸沿いの市街地及び海や、各拠点施設を結ぶ観光ルートである県道雲仙神代線沿道の緑の保全や街路樹や花壇の整備等の緑化事業の検討
- ・雲仙市の海の玄関口である多比良港に隣接する埋立地及びその周辺部の公園や良好な緑の創出

- ・みずほの森公園、農村公園水車の郷における、憩い、遊び、学びが達成できる場としての機能の充実
- ・百花台公園、みずほすこやかランド、遊学の里くにみにおける、レクリエーション拠点や災害時の防災拠点としての機能の強化

#### ②快適に暮らせる水と緑の創出

---

- ・身近な公園の適正な配置と老朽化している公園や広場の改善

### (3) 水と緑を『感じる』ための施策

#### ①観光や交流に向けた水と緑の活用

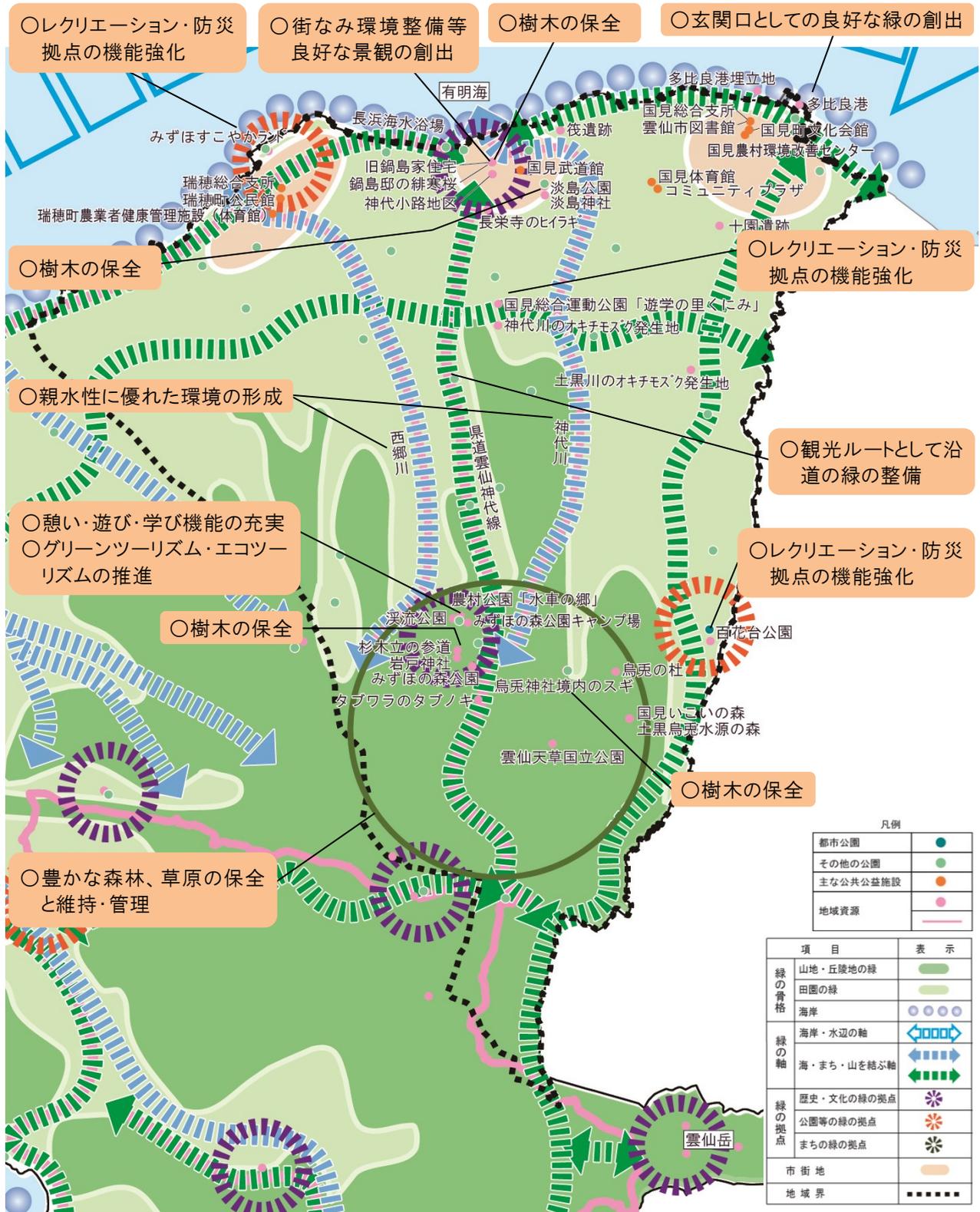
---

- ・百花台公園、みずほすこやかランド、遊学の里くにみなどにおける、スポーツ、憩い、各種レクリエーションが実施できる整備を通じての、スポーツや文化を振興する地域づくりの実施
- ・みずほの森公園、農村公園水車の郷における、グリーンツーリズムやエコツーリズム等の推進

### (4) 水と緑を『育てる』ための施策

- ・市民ニーズを踏まえた水と緑のまちづくりの取組みの推進
- ・既存の市民活動（例：地域の美化活動、賑わい創出に向けたイベント等）の継続展開とこれら団体の連携強化に向けた体制の整備
- ・市民主体の活力ある水と緑のまちづくりを対象とした、各種補助制度の導入の検討

2-4 北部地域緑のまちづくり方針図



【北部地域全体】

○スポーツや文化を振興する地域づくり

○市民ニーズを踏まえた水と緑のまちづくりの推進

○公園・広場の適正な配置と老朽化の改善

○市民活動・団体との連携強化による協働のまちづくりの推進

### 3. 中部地域

#### 3-1 中部地域の現況

##### (1) 現況

人口 (H22)	17,579 人 (吾妻 6,934 人、愛野 5,645 人、千々石 5,000 人) で市全体の 37.2% を占める			
都市公園	2 箇所	7.7ha	その他公園 (自然公園を除く)	40 箇所 53.28ha
一人当たりの公園面積	34.7 m <sup>2</sup> /人		緑地総計 (施設緑地+地域制緑地)	6,135ha (地域全体の 79.9%)

図：中部地域の緑の現況図



表：中部地域の機能別緑の現況

《環境保全機能》	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北は有明海、南西は橘湾に面する</li> <li>●有明海側は、雲仙岳から有明海に向かって北西に広がる扇状の傾斜地と平坦な台地、古くから開かれた干拓地から形成 橘湾側は、雲仙岳から広がる深い森林に囲まれた山間部、そこから扇状に広がった水田と畑地から形成</li> <li>●千々石断層をはじめ、自然美豊かな地形をなし、台地のなりたちや地形、地質をテーマにした自然公園として世界ジオパークに認定された島原半島世界ジオパーク、美しい草原が広がる牧場の里あづま、猿葉山の緑地、岩戸溪流公園周辺の森林など優れた自然が分布</li> <li>●日本の自然百選、日本の白砂青松百選に選ばれた千々石海岸の他、日本の棚田百選に選ばれた清水棚田などが分布</li> <li>●雲仙岳北部に広がる九千部岳と吾妻岳に囲まれた千々石断層上の盆地に田代原高原が分布し、春はミヤマキリシマ、初夏はヤマボウシが群生し、秋は紅葉が楽しめる</li> <li>●有明海沿岸の平野部を中心として、城址、遺跡群が多く分布し中世の城跡を整備した山田城址公園、守山城址公園が分布</li> <li>●干拓地や岳地区の棚田に代表される千々石地域など、優良な農地等が多く分布する。その一方で、耕作放棄地等の課題を持つ</li> <li>●千々石地域は、水量豊かな千々石川が流れ、市街地では湧水に恵まれるなど、水資源が豊かな地域</li> </ul>
《レクリエーション機能》	<ul style="list-style-type: none"> <li>●橘湾沿岸は、千々石海岸が分布し、海水浴をはじめマリンスポーツが楽しめるレクリエーションの場として活用されるなど、自然と触れ合える海辺環境を持つ</li> <li>●スポーツ・レクリエーション機能を有する愛野運動公園の他、牧場の里あづま、岩戸溪流公園、田代原野営場など、豊かな水と緑と親しめる機能が充実</li> </ul>
《防災機能》	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雲仙岳を中心に広がる保安林など、水源かん養、土砂災害防止機能等の防災機能を発揮する森林が分布</li> </ul>
《景観形成機能》	<ul style="list-style-type: none"> <li>●牧場の里あづま周辺を中心に、吾妻、愛野地域の山間地の台地で、肥育牛や養豚が行われ、広々とした牧草地の景観を形成</li> <li>●千々石岳地区の棚田は、約700枚の棚田が広がるエリアとして、重要文化的景観への選定に向けた検討を実施</li> <li>●千々石海岸は、約2kmに渡って美しい砂浜が弓なりに広がる海岸で、千々石海岸風致地区の美しい松林が並ぶ、白砂青松の海岸景観を持つ</li> <li>●橘神社の桜をはじめ良好な景観を持つ樹木や社寺が分布</li> <li>●千々石展望台、愛野展望台、山田城址展望台他、雲仙市が誇る景観を眺望できる地点が各所に分布</li> </ul>

(2) 地域住民の主な意見

※アンケート調査及び市民ワークショップ等によるご意見

<p><b>地域の魅力</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土井川周辺の蛍</li> <li>・桜山公園、山王自然公園の桜</li> <li>・温泉神社付近の千々石川、蛍が綺麗</li> <li>・湧水が綺麗</li> <li>・竹火海岸の環境</li> <li>・千々石海岸、竹林</li> <li>・守山城址公園や稲荷神社の周りの緑、桜</li> <li>・牧場の里あづまのコスモス</li> </ul>
<p><b>地域の課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諫早湾干拓堤防道路両脇の公園の雑草の対策</li> <li>・吾妻地区（特に山田地区）の川が汚い</li> <li>・有明川の堆積土砂</li> <li>・白山公園の植木の維持管理</li> <li>・展望台付近は急速な開発により緑が消えている</li> <li>・海水が濁っている。</li> <li>・山の整備（猿葉山）</li> <li>・城山風致地区、ヒノキなど人工林が多く、常緑樹、落葉樹が少ない</li> <li>・防災の面から、千々石海岸の松林が減少</li> <li>・千々石川の川竹が増え、動植物が減少</li> </ul>
<p><b>アイデア</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛野、吾妻地域には、まちづくり団体が少ない。まちづくり団体を育てることがスタートとなる</li> <li>・まちづくり団体により、地域の歴史資源や公園の管理へつなげる。</li> <li>・まちづくり団体の育成や緑の活動を広げるため、イベントや各種活動の展開が重要</li> <li>・地元の高校、周辺の大学及び地域の若い人と連携しながら、農地の維持管理を進めていく事も重要</li> <li>・諫早湾干拓堤防道路は佐賀県との連携や観光資源としての役割を有している。また、本地域は、エントランスとしての役割を持つことから干陸地や諫早湾干拓堤防道路を積極的に活用する。</li> <li>・国体や新幹線開通を起爆剤（契機）として、緑の取組みを進める事が大事</li> </ul>



千々石海岸



稲荷神社周辺の緑



堤防道路

### 3-2 中部地域の緑のまちづくりの目標

第4章基本方針や各種関連計画に位置付けられる地域まちづくりの方向性を踏まえ、中部地域の緑のまちづくり目標を位置付けます。

#### 基本理念と基本方針

### みんなで育てる きらめく水と緑のまち 雲仙

快適で美しい水と緑を守り、未来へ繋がります

五感で楽しむ、安全・安心を支える水と緑の環境を創ります

水と緑に対する理解を深め、市民協働による水と緑のまちづくりを育てます

#### 中部地域 緑のまちづくりの目標

##### 水と緑と調和した定住環境の創出

市街地周辺の良好な自然環境の保全や住宅地の緑地の確保を図り、利便性やにぎわい、やすらぎを感じることができる良好な住環境を形成します。特に、雲仙市の玄関口、交通の要衝として役割を担う愛野地域、市役所をはじめ主要な行政機能が立地する吾妻地域、また自然や農村との共生による定住促進に取り組む千々石地域など、各地域の特徴を生かし水と緑と調和した定住環境の創出を推進します。

##### 優れた自然や歴史を活かし、水と緑に触れ合える環境の形成

岳地区の棚田、湧水、田代原高原、牧場の里あづまに広がる草原をはじめ、グリーンツーリズム、エコツーリズムなど水と緑と触れ合う機会の創出など、水と緑を活かした交流環境の創出を目指します。そのため、既存のまちづくり団体や住民・事業者との連携、イベント等の活用を通じて、人・地域・文化がつながる緑のまちづくりを推進します。

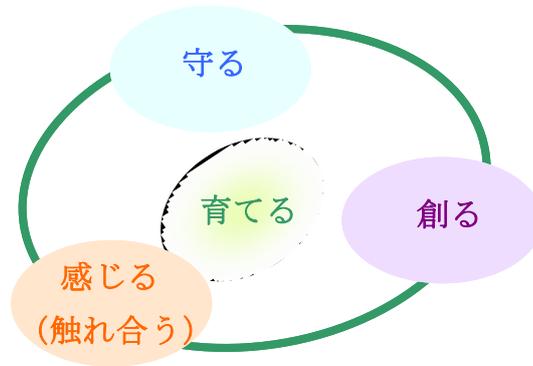
#### 参考：上位・関連計画の位置づけ

	吾妻地域	愛野地域	千々石地域
総合計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広大に広がる農地を最大限に活かした産業の活性化</li> <li>○住環境の整備、観光交流による地域活性化と人と自然にやさしい快適で安全安心なまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雲仙市の中央地区として市の発展の牽引的役割を担う、賑わいと魅力ある田園都市型のまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな自然環境を守り、豊富な湧水と自然資源を活用した自然体験型観光の拠点形成による、自然と調和のとれたにぎわいとやすらぎのまちづくり</li> </ul>
雲仙市都市計画マスタープラン	将来像 『自然に調和した快適な暮らしと賑わいのある地域』 目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住促進に向けた利便性の高い住環境と賑わいのある都市拠点づくり</li> <li>・自然と調和のとれたやすらぎのある住環境づくり</li> <li>・優れた自然や歴史を活かした、魅力的な地域づくり</li> </ul>		

### 3-3 中部地域の緑のまちづくりに向けた施策

第4章「施策の基本体系」に基づき、中部地域における緑のまちづくり施策を整理します。

なお、施策の整理にあたっては、地域の特性に応じて推進すべき施策について位置付けるものとし、市全体として展開する内容については、第4章に基づき進めるものとします。



#### (1) 水と緑を『守る』ための施策

##### ①骨格を形成する水と緑の保全

- ・雲仙岳周辺、猿葉山、岩戸溪流公園周辺をはじめとした森林における、国立公園、保安林等、各種法制度に基づく保全と適正な維持・管理
- ・雲仙北山麓の田代原高原、牧場の里あづまに広がる里地里山的環境である草原における地域住民と行政との協働による適正な維持・管理

※里地里山とは、原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域。また、特有の生物の生息・生育環境、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観、文化の伝承の観点からも重要な地域となる。

- ・愛野地域については、交通基盤、都市機能が整う定住拠点として、都市計画マスタープラン等との整合を図りながら、都市的土地利用の誘導及び農地の保全を推進
- ・千々石海岸における、松林の保全とその再生に向けた検討
- ・千々石川における、河川整備計画等に基づく河川環境の保全や、親水性に優れた水辺空間の創出

##### ②暮らしに身近な水と緑の保全

- ・千々石都市計画区域における千々石海岸周辺、猿葉山周辺の風致地区の見直しの検討

###### ポイント

○千々石都市計画区域の風致地区の区域は、昭和12年の指定当初のままであり、地域によっては実情にそぐわない区域も存在しています。そこで、当初の風致の目的や環境の維持の状況、風致地区内の変遷や現在の許可基準と実際の土地や建物等の利用状況等を踏まえ、風致地区見直しの検討を実施します。

- ・千々石地域の湧水については、市街地の良好な水辺環境としてその保全と活用を検討

### ③歴史と文化を伝える水と緑の保全

- ・岳地区の棚田における、景観重点区域の指定や重要文化的景観への指定の検討と保全・管理の推進
- ・歴史的価値が高く、地域のシンボルとなる樹木の保全

山田城址公園の緑地、守山城址公園の緑地、一本松古墳周辺の緑地、橘神社のサクラ、専照寺のイチヨウ 他

## (2) 水と緑を『創る』ための施策

### ①拠点・軸となる地区の水と緑の創出

- ・橘湾～猿葉山～雲仙岳を結ぶ観光ルートである県道雲仙千々石線沿道の緑の保全や街路樹や花壇の整備等の緑化事業の検討
- ・国道57号、国道251号沿道や主要な道路の結節点における、良好な緑や景観の創出
- ・牧場の里あづま、岩戸溪流公園、田代原高原周辺施設における、憩い、遊び、学びが達成できる場としての機能の充実
- ・愛野運動公園における、市民の憩い、レクリエーション拠点や災害時の防災拠点としての機能の強化

### ②快適に暮らせる水と緑の創出

- ・身近な公園の適正な配置と老朽化している公園や広場の改善
- ・愛野地域における、都市計画区域や用途地域指定の検討による適正な土地利用の推進と美しい水と緑に囲まれた住環境の創出
- ・山田城址公園、守山城址公園における、地域の歴史や自然を感じられる公園の形成に向けた住民との協働による整備の検討

## (3) 水と緑を『感じる』ための施策

### ①観光や交流に向けた水と緑の活用

- ・田代原高原における、グリーンツーリズムやエコツーリズム等の取組みの継続的な実施
- ・景観計画等と連携による、美しい雲仙の眺望景観の保全

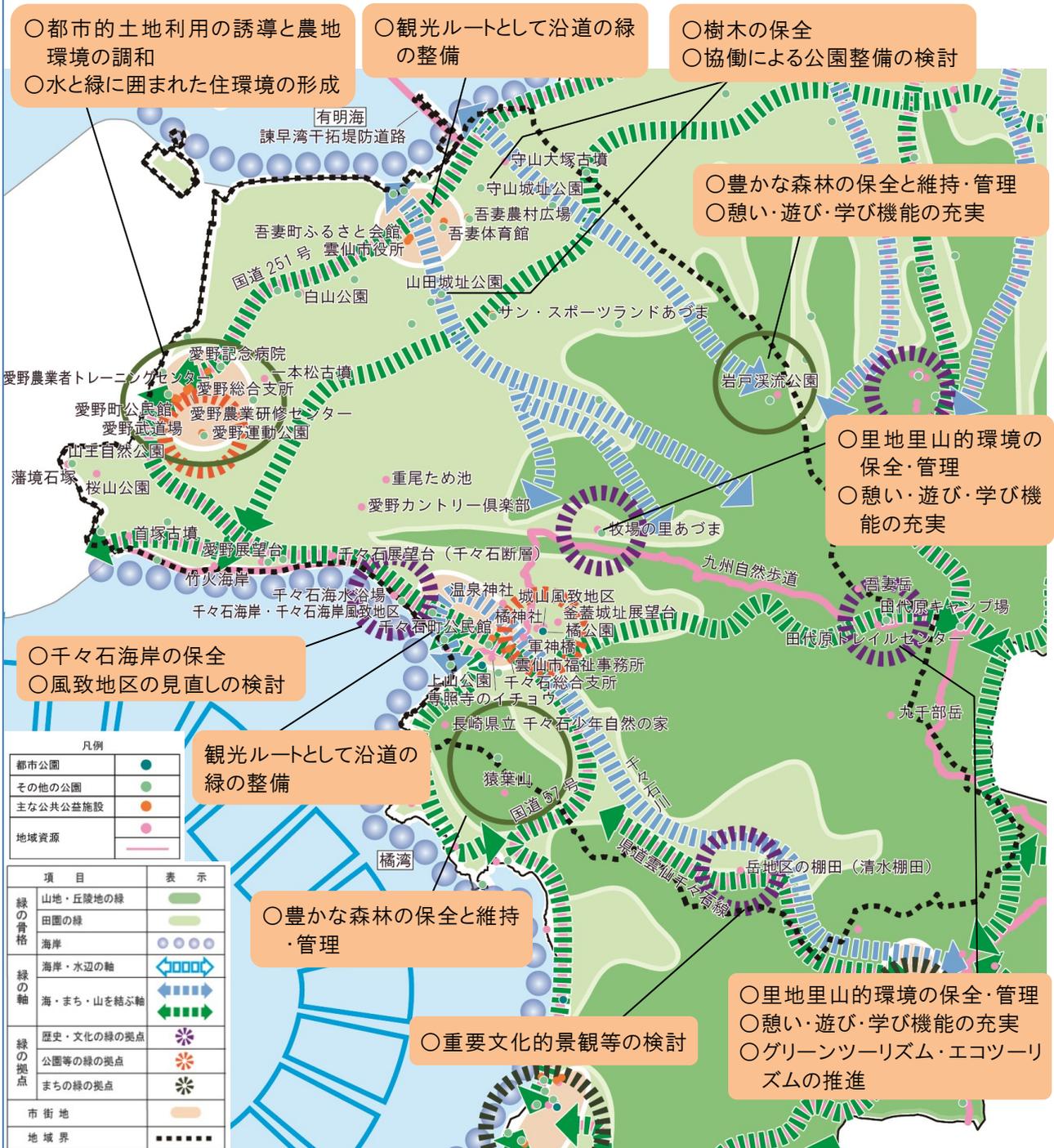
千々石海岸、千々石に分布する棚田、千々石展望台、愛野展望台 他

- ・穏やかな橘湾やダイナミックな千々石断層を望む九州自然歩道長崎県ルートにおける、緑地の保全や散策路の整備の検討

## (4) 水と緑を『育てる』ための施策

- ・市民ニーズを踏まえた水と緑のまちづくりの取組みの推進
- ・既存の市民活動（例：地域の美化活動、賑わい創出に向けたイベント等）の継続展開とこれら団体の連携強化に向けた体制の整備
- ・市民主体の活力ある水と緑のまちづくりを対象とした、各種補助制度の導入の検討

### 3-4 中部地域緑のまちづくり方針図



**【中部地域全体】**

- 湧水の保全と観光資源としての活用
- 市民ニーズを踏まえた水と緑のまちづくりの推進
- 公園・広場の適正な配置と老朽化の改善
- 市民活動・団体との連携強化による協働のまちづくりの推進

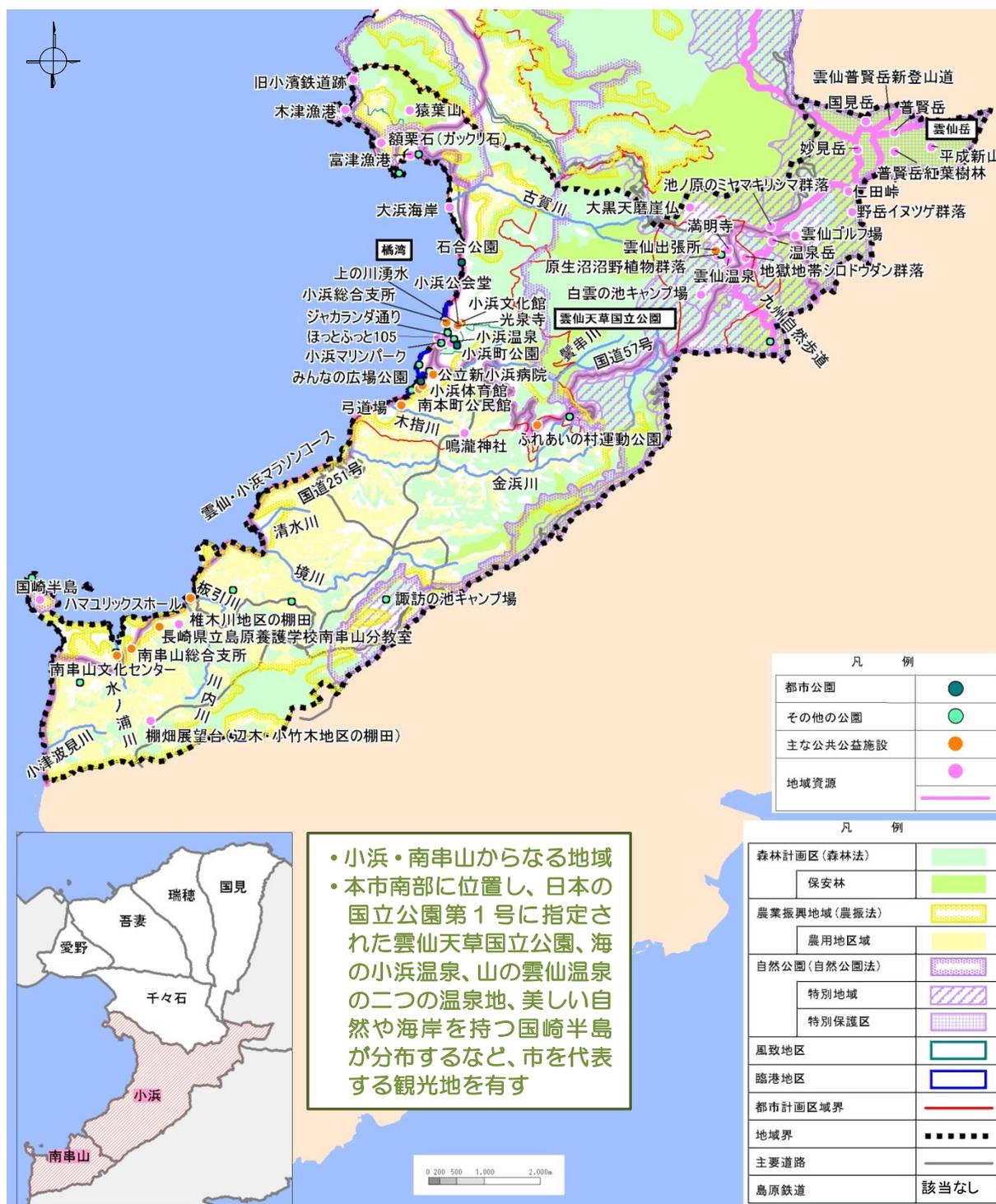
## 4. 南部地域

### 4-1 南部地域の現況

#### (1) 現況

人口 (H22)	13,697人 (小浜 9,604人、南串山 4,093人) で市全体の29%を占める				
都市公園	3箇所	2.32ha	その他公園 (自然公園を除く)	19箇所	51.11ha
一人当たりの公園面積	39.0 m <sup>2</sup> /人		緑地総計 (施設緑地+地域制緑地)	5,532ha (地域全体の84.2%)	

図：南部地域の緑の現況図



表：南部地域の機能別緑の現況

<p>《環境保全機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西は橘湾に面し、扇状に山なみが西部に走り、南側はなだらかな丘陵地帯に水田や畑作地帯が広がる</li> <li>●橘湾沿いの海岸は、磯浜で国崎半島を中心に海岸美を誇る</li> <li>●四季折々、雄大で美しい姿を見せる雲仙天草国立公園が広がり、国の天然記念物にも指定される雲仙ツツジ・ミヤマキリシマなど、赤紫や朱紅など、色とりどりの花の大群落が生い茂る山肌をうめつくす景観を持つ</li> <li>●台地の成り立ちや地形、地質をテーマにした自然公園として世界ジオパークに認定された島原半島世界ジオパークの資源が多く分布し、特にその見どころとなるジオサイトとして位置付けられた、雲仙地獄地帯、小浜温泉が分布</li> <li>●小浜地域を中心として、仁田峠の雲仙ツツジ、ミヤマキリシマ、平成新山、池ノ原のミヤマキリシマ群落、野岳イヌツゲ群落、温泉岳の他、天然記念物に指定された緑が分布</li> </ul>
<p>《レクリエーション機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雲仙天草国立公園は、国際的な観光地として名を馳せる日本発のパブリックコースとして知られる雲仙ゴルフ場が分布</li> <li>●諏訪の池、白雲の池キャンプ場、国崎半島など、豊かな水と緑と親しめる施設が充実</li> <li>●山の雲仙温泉、海の小浜温泉の二つの温泉があり、市を代表する観光地を形成</li> <li>●日本陸上競技連盟が公認した県内唯一の雲仙・小浜マラソンコースや105mの日本一長い足湯（ほっとふっと105）などの資源が分布</li> </ul>
<p>《防災機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雲仙岳を中心に広がる保安林など、水源かん養、土砂災害防止機能等の防災機能を発揮する森林が分布</li> </ul>
<p>《景観形成機能》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雲仙温泉周辺は、国際的な観光地として知名度が高く、自然公園法、街づくり協定等の基準に基づき、統一感のある街なみを形成</li> <li>●小浜温泉周辺は、橘湾に面した海辺の温泉郷の美しい風景が形成され、温泉宿等から立ち上る湯煙は温泉地らしい風景を創出</li> <li>●小浜鉄道跡の道の両側では、緑豊かな木々が生い茂り、緑のトンネルとして親しまれる風景を形成</li> <li>●国の天然記念物にも指定される雲仙ツツジ・ミヤマキリシマなど、赤紫や朱紅など、色とりどりの花10万本の大群落が生い茂る仁田峠の山肌をうめつくす風景など、雲仙岳の美しい眺望景観を形成</li> <li>●南串山地域には、青い海、亜熱帯植物、大自然を満喫できる国崎半島が分布</li> <li>●長崎県のだんだん畑十選に選ばれた、県下有数の馬鈴薯産地である南串山地域の辺木・小竹木地区、椎木川地区の棚畑などが分布</li> </ul>

(2) 地域住民の主な意見

※アンケート調査及び市民ワークショップ等によるご意見

<p>地域の魅力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“小浜ば花いっぱいにする”の取り組み</li> <li>・額栗石（ガックリ石）</li> <li>・光泉寺の水、緑が綺麗</li> <li>・上の川湧水</li> <li>・雲仙地区の紅葉</li> <li>・諏訪の池</li> <li>・国崎半島の砂浜が綺麗</li> </ul>
<p>地域の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のトンネルの道が狭い</li> <li>・県道201号沿道の崖部分にゴミの不法投棄</li> <li>・小島・国崎の松の木の再生</li> <li>・国崎半島へのアクセスが悪い</li> <li>・海の水が汚い</li> <li>・諏訪の池の水が少ない</li> </ul>
<p>アイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小浜温泉・雲仙温泉を拠点として、周辺地域に分布する資源の情報発信を行うなど、市内（地域）の周遊ルートをつくる。 例：小浜温泉（宿泊）→国崎半島（海水浴、自然観光）→諏訪の森（レクリエーション）→小浜温泉</li> <li>・国崎半島は、南串山地域にとって愛着のある場となる。そのため、アクセスを改善すること、自然と触れ合える場を整備することが重要</li> <li>・地域が持つ資源を積極的にPRしていく事が重要（※南串山のじゃがいも他）</li> </ul>



諏訪の池キャンプ場



白雲の池の紅葉



小浜の棚田



小浜温泉



国崎半島

## 4-2 南部地域の緑のまちづくりの目標

第4章基本方針や各種関連計画に位置付けられる地域まちづくりの方向性を踏まえ、南部地域の緑のまちづくり目標を位置付けます。

### 基本理念と基本方針

#### みんなで育てる きらめく水と緑のまち 雲仙

快適で美しい水と緑を守り、未来へ繋ぎます

五感で楽しむ、安全・安心を支える水と緑の環境を創ります

水と緑に対する理解を深め、市民協働による水と緑のまちづくりを育てます

### 南部地域 緑のまちづくりの目標

#### 自然と共存する、快適な住まい環境の創出

山地や丘陵地に広く分布する農地との調和を図り、自然と共存する快適な住まい環境の創出を目指します。温泉地における観光業、ジャガイモの生産、えたりの塩辛等、地域の産業と連携し、漁村集落、田園住宅、観光と調和した住まい環境の形成を目指します。

#### 温泉・海・山の資源を活かした地域の形成

日本有数の温泉地である雲仙温泉、小浜温泉、雲仙岳、国崎半島の自然資源などの地域特有の水と緑の資源を活かし、観光でにぎわう地域づくりを目指します。そのため、既存のまちづくり団体や市民・事業者との連携、イベント等を活用し、人・地域・文化がつながる緑のまちづくりを推進します。

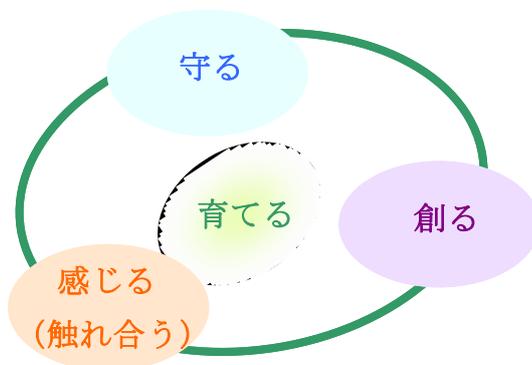
### 参考：上位・関連計画の位置づけ

	小浜地域	南串山地域
総合計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民力・地域力を活かしたまちづくり</li> <li>○新しい時代の新しい観光・産業施策</li> <li>○新エネルギーのモデル地区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○露地野菜栽培を中心とした環境保全型農業や資源管理型漁業の振興</li> <li>○食文化拠点づくりと、国崎半島を活かした広域観光におけるブルーツーリズムの拠点づくり</li> </ul>
雲仙市都市計画マスタープラン	将来像 『温泉・海・山の資源をいかした活気ある生活と観光の地域』 目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・もてなしと交流のある魅力的なまちづくり</li> <li>・便利な暮らし、活力ある観光・産業を支える基盤づくり</li> <li>・自然と共存する安全・快適なまちづくり</li> </ul>	

### 4-3 南部地域の緑のまちづくりに向けた施策

第4章「施策の基本体系」に基づき、南部地域における緑のまちづくり施策を整理します。

なお、施策の整理にあたっては、地域の特性に応じて推進すべき施策について位置付けるものとし、市全体として展開する内容については、第4章に基づき進めるものとします。



#### (1) 水と緑を『守る』ための施策

##### ①骨格を形成する水と緑の保全

- ・雲仙岳周辺をはじめとした森林における、国立公園、保安林等、各種法制度に基づく保全と適正な維持・管理
- ・雲仙天草国立公園内に分布する豊かな自然資源の保全と活用

平成新山、温泉岳、普賢岳紅葉樹林地、仁田峠、宝原、  
池ノ原のミヤマキリシマ群落、野岳イヌツゲ群落、地獄地帯シロドウダン群落 他

- ・基幹産業となる農業（例：南串山の馬鈴薯等）の振興と農業振興地域整備計画等による農地の保全と管理
- ・美しい自然景観や海岸をもつ国崎半島における、自然環境の保全とレクリエーション的な活用

##### ②歴史と文化を伝える水と緑の保全

- ・緑のトンネルにおける、歴史的価値を有する史跡と緑が融合した環境の保全と交通利便性とのバランスを考慮した緑の適正な保全・管理
- ・南串山の段々畑の維持・保全

#### (2) 水と緑を『創る』ための施策

##### ①拠点・軸となる地区の水と緑の創出

- ・橘湾～小浜温泉～雲仙岳や各拠点施設を結ぶ観光ルートである国道57号沿道の緑の保全や街路樹や花壇の整備等の緑化事業の検討
- ・橘湾に沈む夕日や海岸美を望む観光ルートである国道251号における、市民との協働による街路樹や花壇の整備等の緑化事業の検討

- ・雲仙温泉街における、良好な街なみの創出や魅力の維持・創出  
特に、その取組みにあたっては、景観計画やその他関係機関との連携により、国際的な観光地として魅力をさらに高めていく取組みの推進  
加えて、自然公園法、街づくり協定等の基準に基づき、統一性のある街なみを創出
- ・小浜温泉街における、ほっとふっと105、小浜マリパーク、ジャカランダ通りなどの優れた緑を活かした地区特有の魅力ある緑の創出
- ・国崎半島における、レクリエーション的な活用の推進
- ・雲仙天草国立公園一帯の各種レクリエーション施設における、憩い、遊び、学びが達成できる場としての機能の強化

## ②快適に暮らせる水と緑の創出

- ・身近な公園の適正な配置と老朽化している公園や広場の改善
- ・小浜町公園における、人口減少、将来動向を見据えた現時点での必要性の再評価と都市計画公園の見直しの検討

### ポイント

○小浜町公園は、未整備区域が多く残っています。特に、傾斜のきつい山間部に指定された公園で、整備にあたり多くの資金と期間を必要とします。しかし、現在の土地利用や周辺の公園の配置、また市の財政や今後の人口減少など、本市の状況を考慮した場合、従来の方針を見直し新たな都市公園のあり方を検討する事も必要となります。そこで、都市計画公園の見直しを進めます。

## (3) 水と緑を『感じる』ための施策

### ①観光や交流に向けた水と緑の活用

- ・山の雲仙温泉、海の小浜温泉における、島原半島世界ジオパークにおけるジオサイトの取組みと連携した、緑の創出や緑のイベント活動等の推進
- ・雲仙岳周辺のレクリエーション施設や国崎半島における、グリーンツーリズム、エコツーリズム、ブルーツーリズム等の推進
- ・景観計画等との連携による、美しい雲仙の眺望景観の保全

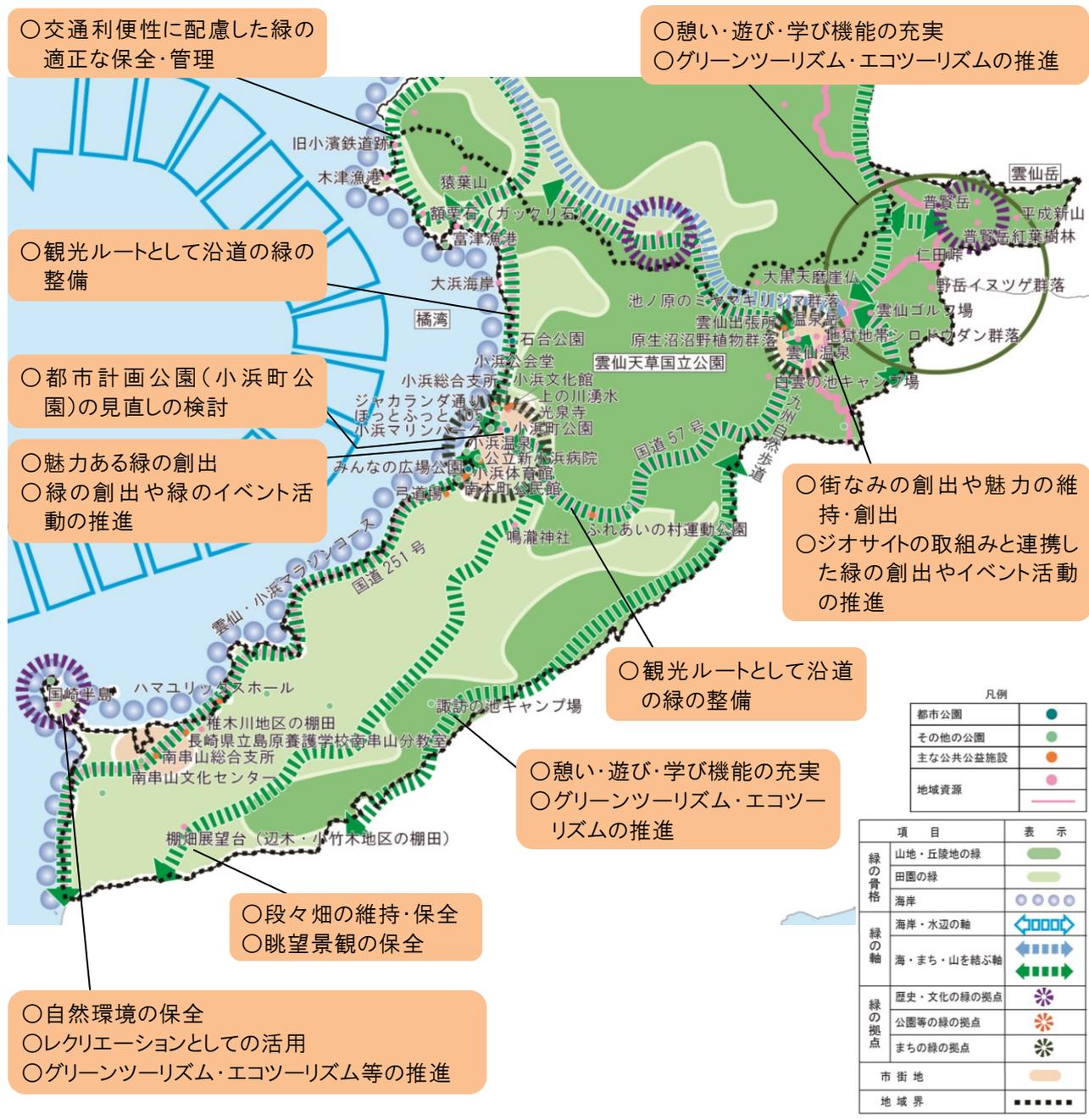
仁田峠、棚畑展望台 他

- ・雲仙温泉街から奥雲仙の粹美・田代原までの山岳コースや諏訪の池～高岩山～雲仙温泉街を結ぶ九州自然歩道長崎県ルートにおける、緑地の保全や散策路の整備の検討

## (4) 水と緑を『育てる』ための施策

- ・市民ニーズを踏まえた水と緑のまちづくりの取組みの推進
- ・既存の市民活動（例：地域の美化活動、賑わい創出に向けたイベント等）の継続展開とこれら団体の連携強化に向けた体制の整備
- ・市民主体の活力ある水と緑のまちづくりを対象とした、各種補助制度の導入の検討

4-4 南部地域緑のまちづくり方針図



**【南部地域全体】**

- 雲仙天草国立公園に分布する豊かな森林の保全と維持・管理
- 市民ニーズを踏まえた水と緑のまちづくりの推進
- 公園・広場の適正な配置と老朽化の改善
- 市民活動・団体との連携強化による協働のまちづくりの推進